

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(管の耐震性に関する計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計 申送り事項 No.69	審査会合 (R1.12.17)	-	設置許可 まとめ資料 4条	動的機能維持評価の検討方 針について	4条-別紙 15-73	詳細設計段階において、弁の応答加速度(評価 用加速度)が機能確認済加速度を超える場合、 JEAG4601に基づき詳細検討を実施する。	①2022/2/21 2022/6/1 2022/8/24 2022/10/3 2022/12/5 ②2023/2/13 今回回答	①動的機能維持要求弁の動的機能維持評価において、弁の応答加速度(評価用加 速度)が機能確認済加速度を超える場合のJEAG4601に基づく詳細評価の手法について 記載しました。 ②詳細評価の結果について、該当する耐震計算書に記載しました。	①NS2-補-027-05 改02「弁の動的機能維持 評価について」 ②NS2-添2-005-04「VI-2-5-3-1-2 管の耐 震性についての計算書(主蒸気系)」P.142 (他 管の耐震性についての計算書)	分類【E】

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(管の耐震性に関する計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/24	添2-004-09	耐震(計算書)(VI-2-4-3-1-3)	VI-2-4-3-1-3 管の耐震性についての計算書(燃料プール冷却系)	P.5	鳥瞰図における点線で示されている部位について、どういう意味か説明すること。また、配管部の先端の構造について、キャップ等が付属しているのであれば、鳥瞰図に示した上で説明すること。	2022/10/25	鳥瞰図においては、主配管を実線、主配管ではないものを点線で示しています。また、鳥瞰図の必要な箇所にキャップを追加しました。	NS2-添2-004-09改01「VI-2-4-3-1-3 管の耐震性についての計算書(燃料プール冷却系)」P.5,6	
2	2022/1/24	添2-005-02	耐震(計算書)(VI-2-5-2-1-1)	VI-2-5-2-1-1 管の耐震性についての計算書(原子炉再循環系)	P.16	管番号 13 及び 14 について、同一温度であるにもかかわらず縦弾性係数が異なっている理由について説明すること。	2023/2/13	縦弾性係数は、最高使用温度ではなく運転温度にて算出しており、最高使用温度が同じであっても運転温度が異なれば縦弾性係数の値が異なる場合があります。	—	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(管の耐震性に関する計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～425については、NS2-他-234で整理済みのため省略。ただし、変更箇所については赤字で示す。						
151	NS2-添2-005-02改01	VI-2-5-2-1-1 管の耐震性についての計算書 (原子炉再循環系)	P.5,7,11	ノズルを実線から破線に変更しました。	2023/2/7	
261	NS2-添2-006-08改01	VI-2-6-4-1-3 管の耐震性についての計算書 (ほう酸水注入系)	P.36	ATWS条件変更に伴い、圧力条件が変更になることから、それに伴って刺激係数を変更しました。	2023/2/7	
363	NS2-添2-009-37	VI-2-9-4-6-1-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス制御系)	P.8	計算書記載範囲の管・レストレイントについて、誤って細線となっていたものを太線に適正化しました。	2023/2/7	
426	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	目次	ページ番号を適正化しました。	2023/2/22	
427	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.2,10	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって… (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって…	2023/2/22	
428	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.3,4,6	サブレーションチェンバの耐震条件の変更に伴い、代表モデル(鳥瞰図番号枠)を変更しました。 (旧)代表モデル:MS-PS-7 (新)代表モデル:MS-PS-10, MS-PS-15	2023/2/22	
429	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.48,58	鳥瞰図の一部が重なっていたため、表示位置を調整しました。	2023/2/22	
430	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.63～66	代表モデルが変更になったことに伴い、鳥瞰図を変更しました。	2023/2/22	
431	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.105～110	代表モデルが変更になったことに伴い、設計条件、支持点及び貫通部ばね定数を変更しました。	2023/2/22	
432	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.111	代表モデルが変更になったことに伴い、材料を追加しました。	2023/2/22	
433	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.112	記載を適正化しました。 (旧)策定 (新)設定	2023/2/22	
434	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.112	代表モデルが変更になったことに伴い、設計用地震力を変更しました。	2023/2/22	
435	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.131～136	代表モデルが変更になったことに伴い、固有周期及び設計震度、代表的振動モード図を変更しました。	2023/2/22	
436	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.138,145,146	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等クラス2管 (新)重大事故等クラス2管(原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲)	2023/2/22	
437	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.139	代表モデルが変更になったことに伴い、評価結果を変更しました。	2023/2/22	
438	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.140,149～152	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等クラス2管 (新)重大事故等クラス2管(原子炉冷却材圧力バウンダリを除く範囲)	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
439	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.141	サブレーションチェンバの耐震条件の変更に伴い、メカニカルスナッパの計算荷重を変更しました。 (旧)274 (新)314	2023/2/22	
440	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.142	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 詳細評価*2 *2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 詳細評価*2,3 *2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 *4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
441	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.142	動作機能確認済加速度及び構造強度評価結果について、「詳細評価」で実施することが分かるよう表を適正化しました。	2023/2/22	
442	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.142	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)*2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)*2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 *3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
443	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.142	RV202-1F及びRV202-1Hの構造強度評価結果について、計算応力を適正化しました。 (旧)242, 207 (新)246, 211	2023/2/22	
444	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.142	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd)を削除しました。	2023/2/22	
445	NS2-添2-005-04	VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書 (主蒸気系)	P.147~152	サブレーションチェンバの耐震条件の変更に伴い、評価結果を変更しました。	2023/2/22	
446	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.2,7	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって… (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって…	2023/2/22	
447	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.80	記載を適正化しました。 (旧)策定 (新)設定	2023/2/22	
448	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.117,125,126	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等クラス2管 (新)重大事故等クラス2管(原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲)	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
449	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.119,131~134	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等クラス2管 (新)重大事故等クラス2管(原子炉冷却材圧力バウンダリを除く範囲)	2023/2/22	
450	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.121,122	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 *2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 *2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 *4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
451	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.121,122	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)*2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)*2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 *3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
452	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.121,122	$\alpha(Sd)$ , $\beta(Sd)$ を削除しました。	2023/2/22	
453	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.124~126	計算の一部においてメーカー独自の評価方法となっていたものがあつたため、適切な評価手法に見直しました。	2023/2/22	
454	NS2-添2-005-09改01	VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系)	P.127,129,131,133	サブレッションチェンバの耐震条件の変更に伴い、評価結果を変更しました。	2023/2/22	
455	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.2,5	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であつて・・・ (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であつて計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であつて・・・	2023/2/22	
456	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.23	記載を適正化しました。 (旧)策定 (新)設定	2023/2/22	
457	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.31,33,34	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽耐震条件の変更(掘削箇所の影響を考慮)に伴い、評価結果を変更しました。なお、掘削前の状態での評価結果は、別途工認添付書類の別添として提出します。	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
458	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.32	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 *2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 *2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 *4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
459	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.32	動作機能確認済加速度及び構造強度評価結果について、「詳細評価」で実施することが分かるよう表を適正化しました。	2023/2/22	
460	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.32	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)*2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)*2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 *3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
461	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.32	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd) を削除しました。	2023/2/22	
462	NS2-添2-005-29	VI-2-5-5-5-2 管の耐震性についての計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.33,34	許容応力及び裕度について、誤記を修正しました。 (旧)367, 3.42 (新)363, 3.39	2023/2/22	
463	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	目次	ページ番号を適正化しました。	2023/2/22	
464	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.2.5	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって・・・ (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって・・・	2023/2/22	
465	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.3	サブプレッションチェンバの耐震条件の変更に伴い、RCIC-PS-2を代表モデルに変更しました。	2023/2/22	
466	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.10,11	代表モデルが変更になったことに伴い、鳥瞰図を変更しました。	2023/2/22	
467	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.16,18	接続先モデル名の記載漏れがあったため、接続先モデル名を追加しました。	2023/2/22	
468	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.29～31	代表モデルが変更になったことに伴い、設計条件、支持点及び貫通部ばね定数を変更しました。	2023/2/22	
469	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.32	ATWS条件変更により、最高使用圧力及び最高使用温度を変更しました。 (旧)8.62, 302 (新)8.98, 304	2023/2/22	
470	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.46	代表モデルが変更になったことに伴い、材料を追加しました。	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
471	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.47	記載を適正化しました。 (旧)策定 (新)設定	2023/2/22	
472	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.47	代表モデルが変更になったことに伴い、設計用地震力を変更しました。	2023/2/22	
473	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.54～56	代表モデルが変更になったことに伴い、固有周期及び設計震度、代表的振動モード図を変更しました。	2023/2/22	
474	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.57	ATWS条件変更に伴い、圧力条件が変更になることから、それに伴って設計震度を変更しました。	2023/2/22	
475	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.70,77,78	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等クラス2管 (新)重大事故等クラス2管(原子炉冷却材圧力パウンダリ範囲)	2023/2/22	
476	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.71	代表モデルが変更になったことに伴い、評価結果を変更しました。	2023/2/22	
477	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.72,81,82	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等クラス2管 (新)重大事故等クラス2管(原子炉冷却材圧力パウンダリを除く範囲)	2023/2/22	
478	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.74	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
479	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.74	動作機能確認済加速度及び構造強度評価結果について、「詳細評価」で実施することが分かるよう表を適正化しました。	2023/2/22	
480	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.74	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)* 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)* 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
481	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.74	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd)を削除しました。	2023/2/22	
482	NS2-添2-005-32	VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.79～82	サブレーションチェンバの耐震条件及びATWS条件の変更に伴い、評価結果を変更しました。	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
483	NS2-添2-005-39	VI-2-5-7-1-6 管の耐震性についての計算書 (原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	P.5,12,71,73	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって・・・ (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって・・・	2023/2/22	
484	NS2-添2-005-39	VI-2-5-7-1-6 管の耐震性についての計算書 (原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	P.59,117	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
485	NS2-添2-005-39	VI-2-5-7-1-6 管の耐震性についての計算書 (原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	P.59,117	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)* 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)* 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
486	NS2-添2-005-39	VI-2-5-7-1-6 管の耐震性についての計算書 (原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	P.59,117	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd) を削除しました。	2023/2/22	
487	NS2-添2-005-45	VI-2-5-7-2-6 管の耐震性についての計算書 (高圧炉心スプレイ補機冷却系及び高圧炉心スプレイ補機海水系)	P.5,8,56,59	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって・・・ (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって・・・	2023/2/22	
488	NS2-添2-005-45	VI-2-5-7-2-6 管の耐震性についての計算書 (高圧炉心スプレイ補機冷却系及び高圧炉心スプレイ補機海水系)	P.48,84	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
489	NS2-添2-005-45	VI-2-5-7-2-6 管の耐震性についての計算書 (高圧炉心スプレイ補機冷却系及び高圧炉心スプレイ補機海水系)	P.48,84	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)* 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)* 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	



No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
490	NS2-添2-005-45	VI-2-5-7-2-6 管の耐震性についての計算書 (高圧炉心スプレイ補機冷却系及び高圧炉心ス プレイ補機海水系)	P.48,84	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd)を削除しました。	2023/2/22	
491	NS2-添2-009-29	VI-2-9-4-5-1-1 管の耐震性についての計算書 (非常用ガス処理系)	P.2,5	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって… (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び 他系統の管であって…	2023/2/22	
492	NS2-添2-009-29	VI-2-9-4-5-1-1 管の耐震性についての計算書 (非常用ガス処理系)	P.68	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加 速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機 能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合 成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛 直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であるこ とを確認する。 * 4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用す る。	2023/2/22	
493	NS2-添2-009-29	VI-2-9-4-5-1-1 管の耐震性についての計算書 (非常用ガス処理系)	P.68	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)* 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動 作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認 済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)* 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及 び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であ ることを確認する。 * 3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
494	NS2-添2-009-29	VI-2-9-4-5-1-1 管の耐震性についての計算書 (非常用ガス処理系)	P.68	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd)を削除しました。	2023/2/22	
495	NS2-添2-009-33改02	VI-2-9-4-5-2-1 管の耐震性についての計算書 (可燃性ガス濃度制御系)	P.38	機能維持評価用加速度の合成値について、桁処理を適正化しました。 (旧)7.7 (新)7.6	2023/2/22	
496	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	目次	ページ番号を適正化しました。	2023/2/22	
497	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.2,4	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって… (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び 他系統の管であって…	2023/2/22	
498	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.3	干渉対策のための配管ルート変更に伴い、代表モデル(鳥瞰図番号枠)を変更しました。 (旧)代表モデル:ANI-R-10SP (新)代表モデル:ANI-R-3SP, ANI-R-5SP	2023/2/22	
499	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.5~9	代表モデルが変更になったことに伴い、鳥瞰図を変更しました。	2023/2/22	
500	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.12~21	代表モデルが変更になったことに伴い、設計条件、支持点及び貫通部ばね定数を変更しました。	2023/2/22	
501	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.22	代表モデルが変更になったことに伴い、材料及び最高使用温度を追加しました。	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
502	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.23	記載を適正化しました。 (旧)策定 (新)設定	2023/2/22	
503	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.23	代表モデルが変更になったことに伴い、設計用地震力を変更しました。	2023/2/22	
504	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.24~30	代表モデルが変更になったことに伴い、固有周期及び設計震度、代表的振動モード図を変更しました。	2023/2/22	
505	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.24	固有周期の変更に伴い、以下の注記を削除し、削除した番号以降の番号を適正化しました。 <削除> * 2: 設計用床応答スペクトルⅡ(基準地震動S <sub>s</sub> )より得られる震度	2023/2/22	
506	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.31,34,35	干渉対策のための配管ルート変更に伴い、評価結果を変更しました。	2023/2/22	
507	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.33	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2: 機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2: 水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 4: 水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
508	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.33	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧) * 2: 機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「―」と記載する。 (新) * 2: 水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 3: 詳細評価対象外の場合は「―」と記載する。	2023/2/22	
509	NS2-添2-009-36	VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.33	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd)を削除しました。	2023/2/22	
510	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	目次	ページ番号を適正化しました。	2023/2/22	
511	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.2.6	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって・・・ (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって・・・	2023/2/22	
512	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.4.5	第1ベントフィルタ格納槽の耐震条件の変更に伴い、FCVS-F-6を代表モデル以外に変更しました。	2023/2/22	
513	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	-	代表モデルが変更になったことに伴い、FCVS-F-6鳥瞰図を削除しました。	2023/2/22	
514	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	-	代表モデルが変更になったことに伴い、FCVS-F-6設計条件、支持点及び貫通部ばね定数を削除しました。	2023/2/22	
515	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.16	代表モデルが変更になったことに伴い、材料を削除しました。	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
516	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.17	代表モデルが変更になったことに伴い、設計用地震力を変更しました。	2023/2/22	
517	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	-	代表モデルが変更になったことに伴い、FCVS-F-6固有周期及び設計震度、代表的振動モード図を変更しました。	2023/2/22	
518	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.23	代表モデルが変更になったことに伴い、評価結果を変更しました。	2023/2/22	
519	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.24	第1ベントフィルタ格納槽の耐震条件の変更(掘削箇所の影響を考慮)に伴い、代表支持構造物及び評価結果を変更しました。なお、掘削前の状態での評価結果は、別途工認添付書類の別添として提出します。	2023/2/22	
520	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.25	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
521	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.25	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)* 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)* 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
522	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.25	$\alpha(S_d)$ , $\beta(S_d)$ を削除しました。	2023/2/22	
523	NS2-添2-009-38	VI-2-9-4-7-1-1 管の耐震性についての計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.26~31	第1ベントフィルタ格納槽の耐震条件の変更(掘削箇所の影響を考慮)に伴い、代表モデル及び評価結果を変更しました。なお、掘削前の状態での評価結果は、別途工認添付書類の別添として提出します。	2023/2/22	
524	NS2-添2-010-10	VI-2-10-1-2-1-9 管の耐震性についての計算書(非常用ディーゼル発電設備)	P.2.5	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって・・・ (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって・・・	2023/2/22	
525	NS2-添2-010-10	VI-2-10-1-2-1-9 管の耐震性についての計算書(非常用ディーゼル発電設備)	P.48	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
526	NS2-添2-010-10	VI-2-10-1-2-1-9 管の耐震性についての計算書(非常用ディーゼル発電設備)	P.48	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)*2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)*2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、 <u>水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。</u> *3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
527	NS2-添2-010-10	VI-2-10-1-2-1-9 管の耐震性についての計算書(非常用ディーゼル発電設備)	P.48	$\alpha(Sd)$ , $\beta(Sd)$ を削除しました。	2023/2/22	
528	NS2-添2-010-17	VI-2-10-1-2-2-7 管の耐震性についての計算書(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備)	P.2.4	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち他系統の管であって・・・ (新)工事計画記載範囲外の管、又は工事計画記載範囲の管のうち本系統の管であって計算書作成対象範囲外の管及び他系統の管であって・・・	2023/2/22	
529	NS2-添2-010-17	VI-2-10-1-2-2-7 管の耐震性についての計算書(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備)	P.37	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 *2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり <u>水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。</u> *2: <u>水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。</u> *4:水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
530	NS2-添2-010-17	VI-2-10-1-2-2-7 管の耐震性についての計算書(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備)	P.37	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧)*2:機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新)*2:水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、 <u>水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。</u> *3:詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
531	NS2-添2-010-17	VI-2-10-1-2-2-7 管の耐震性についての計算書(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備)	P.37	$\alpha(Sd)$ , $\beta(Sd)$ を削除しました。	2023/2/22	
532	NS2-添2-017-06	VI-2-別添2-6 循環水ポンプ出口弁及び復水器水室出入口弁の耐震性についての計算書	P.18	記載を適正化しました。 (旧)策定 (新)設定	2023/2/22	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
533	NS2-添2-017-06	VI-2-別添2-6 循環水ポンプ出口弁及び復水器 水室出入口弁の耐震性についての計算書	P.24	機能維持評価用加速度に水平及び鉛直方向の合成の欄を追加しました。(下線部参照) (旧)下表に示すとおり機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下である。 * 2: 機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 (新)下表に示すとおり水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下又は水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 2: 水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 4: 水平及び鉛直方向の機能維持評価用加速度をベクトル和により合成した値であり、詳細評価を実施する場合に使用する。	2023/2/22	
534	NS2-添2-017-06	VI-2-別添2-6 循環水ポンプ出口弁及び復水器 水室出入口弁の耐震性についての計算書	P.24	合成の欄を追加したことに伴い、注記を分割しました。(下線部参照) (旧) * 2: 機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。なお、機能維持評価用加速度が機能確認済加速度以下の場合は「—」と記載する。 (新) * 2: 水平又は鉛直方向の機能維持評価用加速度が機能確認済加速度を超過する場合は詳細評価を実施し、水平及び鉛直方向を合成した機能維持評価用加速度が動作機能確認済加速度の最小値以下かつ計算応力が許容応力以下であることを確認する。 * 3: 詳細評価対象外の場合は「—」と記載する。	2023/2/22	
535	NS2-添2-017-06	VI-2-別添2-6 循環水ポンプ出口弁及び復水器 水室出入口弁の耐震性についての計算書	P.24	$\alpha$ (Sd), $\beta$ (Sd)を削除しました。	2023/2/22	
536	NS2-添2-019-04	VI-2-別添4-3-2 管の耐震性についての計算書 (地下水位低下設備)	P.17	標高の記載を適正化しました。	2023/2/22	
537	NS2-添2-019-04	VI-2-別添4-3-2 管の耐震性についての計算書 (地下水位低下設備)	P.18~20	掘削後の条件に変更したため、設計用床応答スペクトルを変更しました。	2023/2/22	